

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		食育推進事業						予算事業名		食育推進事業費			
予算科目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	食育基本法			
				04	01	03	2302	経常経費					
総合計画体系		1ともに支えあい、安心して暮らせる社会福祉の充実(保健・福祉)						事業の区分	主要事業				
		1-1健康で安心して暮らせる保健福祉の充実(健康・医療)							重点事業				
		①健康づくりの推進						担当課係等	健康増進課				
		1健康づくり活動の推進							健康増進係				
事業期間		継続 (平成17年度～ 年度)											
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
地域、各種関係団体等と協働し、市民が健全な食生活を実践できることを目指す。						食育基本法に基づき平成26年3月に策定した「結城市食育推進計画」に基づいて実施							
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】						【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】							
食育の普及啓発 ・食育推進委員会の開催：庁内の食育関係課の連絡・調整機関(講演会・ポスター展示等) ・食育講演会：食育に関する講演会を開催し、知識の普及を図る。 ・食育推進啓発ポスター募集・展示：市内小・中学生から作品を募集し、展示する。 ・食育レシピの掲載：広報結城に年5回、レシピを掲載。 ・市民に対し食育に関する意識調査を実施する。						市民 【事業をとりまく環境の変化】 平成27年度に国・県ともに食育基本計画(第三次計画)を策定した。平成29年度に、食育推進計画を含む第2次結城市健康増進計画を策定した。							
【令和3年度 事業内容】				【令和4年度 事業内容】				【令和5年度 事業内容】					
・食育推進委員会の開催 ・食育講演会 ・食育推進啓発ポスター募集、展示、ポスター作成 ・食育レシピの掲載 ・食育意識調査				・食育推進委員会の開催 ・食育講演会 ・食育推進啓発ポスター募集、展示、ポスター作成 ・食育レシピの掲載				・食育推進委員会の開催 ・食育講演会 ・食育推進啓発ポスター募集、展示、ポスター作成 ・食育レシピの掲載					
■事業費													
		R01年度		R02年度									
財源内訳	国庫支出金	0		0									
	県支出金	0		0									
	地方債	0		0									
	その他	0		0									
	一般財源	250		202									
歳入計(千円)		250		202									
歳出内訳	節(番号+名称)		金額(千円)		金額(千円)								
	07 報償費		240		170								
	10 需用費		10		10								
	13 使用料及び賃借料		0		22								
歳出計(千円)(A)		250		202									
伸び率(%)				-19.20									
備考	総合計画49ページ 予算書103ページ												

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	食育推進委員会開催回数	回	目標	3.00	3.00	3.00
	健康増進課，給食センター，農政課，子ども福祉課，学校栄養教諭で組織 食育の推進について協議する		実績	5.00	0.00	0.00
	食育講演会の開催	回	目標	3.00	1.00	3.00
	対象について隔年で一般市民と中学生を交互に実施する		実績	3.00	0.00	0.00
成果 指標	食育講演会参加者数	人	目標	1,000.00	100.00	1,000.00
	食育講演会への参加延べ人数		実績	926.00	0.00	0.00
	食育啓発ポスター応募者数	人	目標	200.00	200.00	200.00
	食育推進の一環として小中学生に対し，ポスターの公募を行う		実績	282.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	すべての世代に正しい食の普及・啓発が必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	食育基本法において食育推進の実施主体は市町村と定められている。
	手段の妥当性	A 妥当である	食育の普及・啓発の手段については，推進委員会で協議し決定する。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらも言えない	コストは効率は高いが，全市民に対しては食育に対する理解度を把握できていない。
公平性	受益者の偏り	B どちらも言えない	講演会は対象（中学生・一般・職域連携）を絞って講話のテーマを決めた方が効果的と思われる。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	講演会受講者については，食に関心を持てたという声が聴かれるため，繰り返すことで成果が上がる。
進捗度	事業の進捗	B どちらも言えない	ポスター応募作品数の増等，食育が普及されてきていると感じる一方，講演会後のアンケートによると，家庭での食育実施状況について「していない・分からない」と答えた生徒が約30%おり，継続的に講演会等の事業を行うことが必要である。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
食育に対する施策を小・中学生を対象に実施しているため，市民全体の意識の把握ができていないため，市民に対する調査を定期的に行い，必要な対策を講じる。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
食育についての周知方法を検討すると共に，市民の状態を把握し適切な施策を実施していく。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置
方向性の具体的内容 多くの市民が「食育」について意識を持ち生活できるよう，啓発活動を継続するとともに，保育や教育関係者と連携し効果的な事業を展開する。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。